

# 輸送資源をフル活用した地域公共交通の課題解決

## 県内の路線バスに従事する運転士数の推移



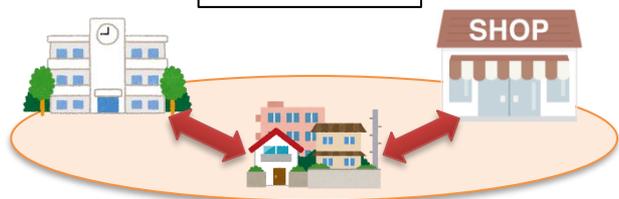
路線バスに従事する運転士は、10年間で212人減少  
→ 路線の廃止や減便 ➡ **地域住民の移動手段の確保が課題**

2015年度 2016年度 2017年度 2018年度 2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度

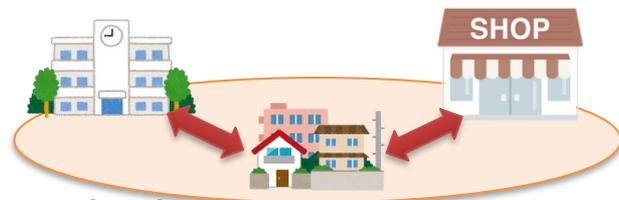
■ 従事者数(単位:人)

# 公共施設や商業施設等の 統合・集約による移動需要の増大

現状



A地域

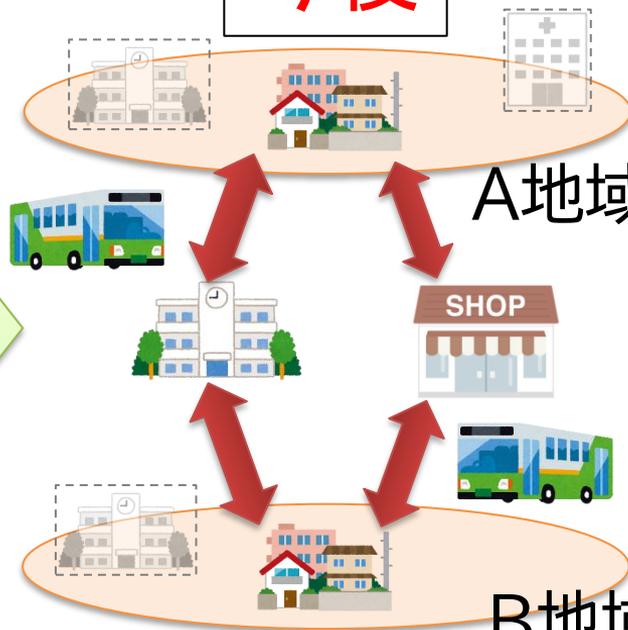


B地域

それぞれの地域で公共施設や  
商業施設等が立地

人口減少を  
踏まえた  
統合・集約

今後

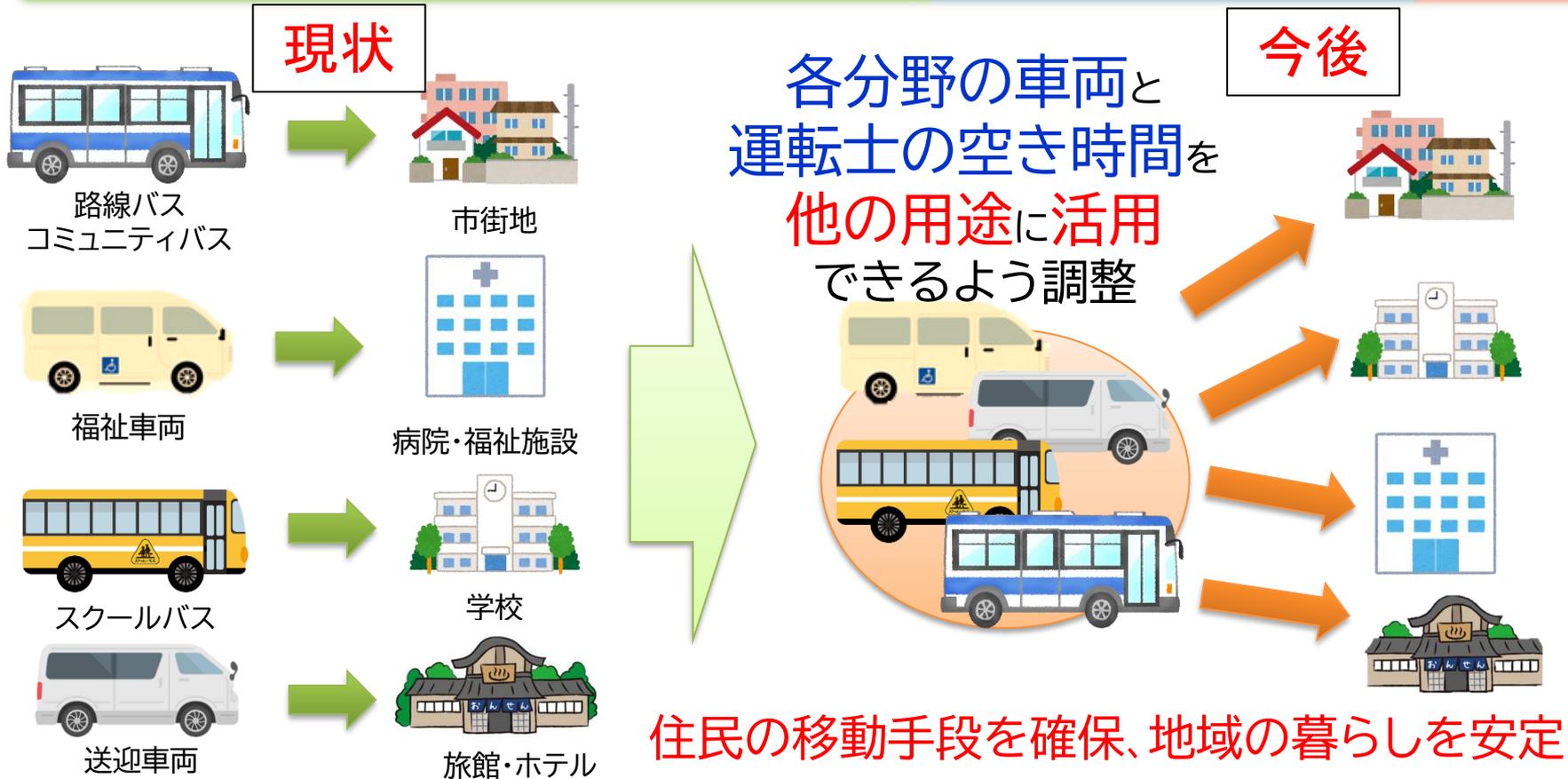


A地域

B地域

統合された公共施設等を利用

# 地域における**輸送資源のフル活用**



# 県内における地域資源フル活用の事例

## 芦北町ふれあいツクールバス

登下校時間帯はスクールバス、  
日中はコミュニティ交通(ふれあいツクールバス)  
として運行

児童・生徒だけでなく高齢者や  
車を持たない住民の移動手段を確保



# 輸送資源のフル活用に向けた 庁内プロジェクトチームの設置

輸送資源フル活用推進プロジェクトチーム  
(課題解決に取り組んでいる市町村等も参加)

交通

健康  
福祉

教育

観光

部局横断で連携し、地域の交通課題の解決を推進